

令和4年7月14日（木）

令和4年度 第1回平群町介護支援専門員勉強会 アンケート

1. 本日の勉強会を終えて、帰ったら行動しようと思ったことがありましたら、お書き下さい。

- 家が安心か、近い避難場所の確認。
- 利用者さんも自身の対策を考えただけのよう声かけをしていく。
- 防災グッズを揃えて運びやすい場所に保管できるようにしようと思います。
- アプリの取り込みで、情報収集、共有しようと思います。
- 職場内での情報共有、意識の共有をしようと思います。
- 災害伝言ダイヤルのアプリを家族皆入手する。
- 平群町ハザードマップの再確認。
- 非常持ち出し袋に取り掛かる。
- まず1歩を踏み出す。
- 災害時伝言板アプリを取り込み、持ち出し袋の用意（笛も用意）し、家族と話し合う。
- 非常時の優先利用者選択。
- 難しく考えず、日頃からいつ災害が起こるかわからないという心構えが大事だと思いました
- 笛の話に感銘を受けました。いつの間にか自分が生き残っている前提になっていた。
- 自宅、職場の環境の確認。
- 自宅、職場の双方に、非常時持ち出し袋を準備
- 非常持ち出し袋の準備、BCPガイドラインの確認
- 2回目の受講、今度は家族に向けて講師になる。
- 日頃のアセスメントにおいて、地域とのつながりや災害時の対応方法などを確認しておくことが大切だと理解した。
- まずは、自身の安全を確保し、職場の初動対応を行うことを常に意識しておくことが大切だと思いました。
- スマホアプリ（災害伝言板）を取り込む。
- 災害時非常持ち出し袋の確認。
- 出勤時に災害が発生し、しばらく帰宅できないことを想定して、着替え等を準備する。

2. 本日の勉強会に関する感想・ご意見等お書き下さい。

- BCPには取り掛かっています。事業によって様々なので、自事業所活用できるものを更新しながら作成していきたい。
- 本日の勉強会は、作成するにおいて、とても参考になりました。
- 常に災害に対する心構えを持ち、準備することが必要と再確認しました。
- 今、地域の役員をしておりまして、昨日の会議で自主防災の話し合いがありました。本日、BCPを作成することに重荷を感じていましたが、「通常業務を行う中で整えていく」というお話を伺い、少しずつ進めていこうと思いました。
- 災害時のために、平時から少しずつ具体的に考えることが大事と思いました。
できることからまず1歩

- とても分かりやすかったです。
 - 危機感を持つことができた。
 - 資料もわかりやすく、話の店舗もよく良かったです。
 - とても具体的で多くのヒントをいただいた。
 - 災害時の対応についてよくわかりました。
 - BCPの作成業務について、1歩踏み出そうと思います。
 - その時がどんな災害かで適切な判断が異なってくると思うので、とても難しいと思いました
 - 前回社協で非常リュック家族分いると聞き、慌てて後3つ用意しました。(4人家族) 百均などのキャンプグッズは、植村さんのお話にもあったように、特別に用意しなくても日頃から使えるものも多いので購入しました。
 - 常に防災への意識を持つことが重要だと思いました。
 - 大きなことを成し遂げるのではなく、自分ができることから始めていけばいいということがわかりました。
 - 高齢者宅を訪問時に、日頃からの備えが大切であることを伝えていこうと思いました。
 - 大規模災害が発生したら、だれでも慌てるし、気が動転する。しかし、このような勉強を重ねることによって「〇〇しなければならない」「〇〇は大丈夫か」「まず、〇〇から始めよう」など勉強会で得た知識が活かされる。自分の身を守り落ち着いて行動していきたい。
 - 第1部について：「奈良は自然災害が少ない」と漠然と考えていて、これまで防災意識が希薄でした。今回の研修により、その意識を改めることができました。各地の甚大災害の被災地の人も、その時が来るまで何の根拠もなく、「自分のところは大丈夫だろう」とか「来たら来たでその時だ」というふうに考えていたのではないかと思います。日頃から「今、そこにある危機」を意識しておかね、その時にどうしようもないことがわかりました。
- 大変有意義な研修でした。ありがとうございました。
- 第2部について：BCP作成は努力義務であり、深刻には考えていなかったのですが、きちんと考えておくべき業務であることがわかりました。近い将来には東南海地震が発生する予想がされているので、あまり時間も残されてないと感じました。ありがとうございました。
 - 災害がないと、危機意識が薄れてくるので、時々触れて初心にかえることが必要。

出席者 18名 アンケート提出 18名